

中国情報（畜産）

2007年5月25日号

◎2007年4月における中国の畜産物及び飼料価格情勢分析

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年4月における中国の畜産物及び飼料価格情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

農業部畜牧業司が実施した全国450カ所の定点調査統計によると、4月の主要畜産物及び飼料価格は高水準で推移した。前月に比べ子豚及び豚の価格は上昇、鶏卵及びトウモロコシ価格は前月並み、肉類の価格はやや下落した。前年同月比では、豚及び家禽産品価格が大幅に上昇し、牛肉、羊肉（注：中国では、一般に綿羊とヤギを区別せずに「羊」と総称する。同様に、「羊肉」は綿羊肉とヤギ肉の総称。以下同じ）及びトウモロコシ価格はともに二桁前後の伸びを示した。4月の豚／穀物比（豚の販売価格に対する飼料費用の比率を表したものの。豚の販売価格÷穀物の価格で産出）は5.86で、前月比0.07ポイント上昇し、損益分岐点である5.5を8カ月連続で上回った。

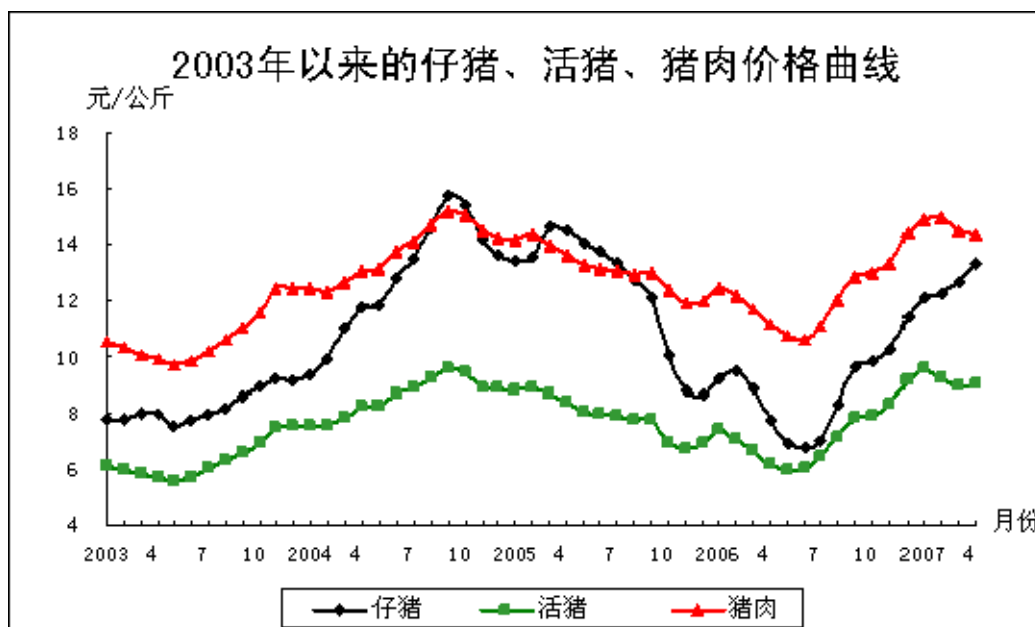
1 価格変動状況

（1）子豚及び豚価格は若干の上昇、豚肉価格は引き続き下落

2007年4月の全国の子豚、豚及び豚肉の平均価格は、それぞれ1kg当たり13.31元、9.02元及び14.39元となり、前月に比べそれぞれ5.0%高、1.1%高及び0.8%安となった。子豚価格の上昇幅は湖南省が最大で、前月比13.36%高となった。主産地である山東省、河南省、安徽省、雲南省、四川省における上昇幅は6%以上となった。子豚価格が比較的高かったのは、内蒙古自治区の18.33元で、逆に全国最低は江蘇省の8.52元であった。浙江省、山東省では豚価格の上昇率が比較的高く、5%を超えた。豚肉価格は引き続き上海市が全国最高で、1kg当たり17.5元であった。

また、前年同期比で見ると、子豚は71.3%高、豚は45.2%高、豚肉は29.3%高となった。主な原因は、昨年4～6月の豚産品価格が史上最低を記録したことにより、昨年7

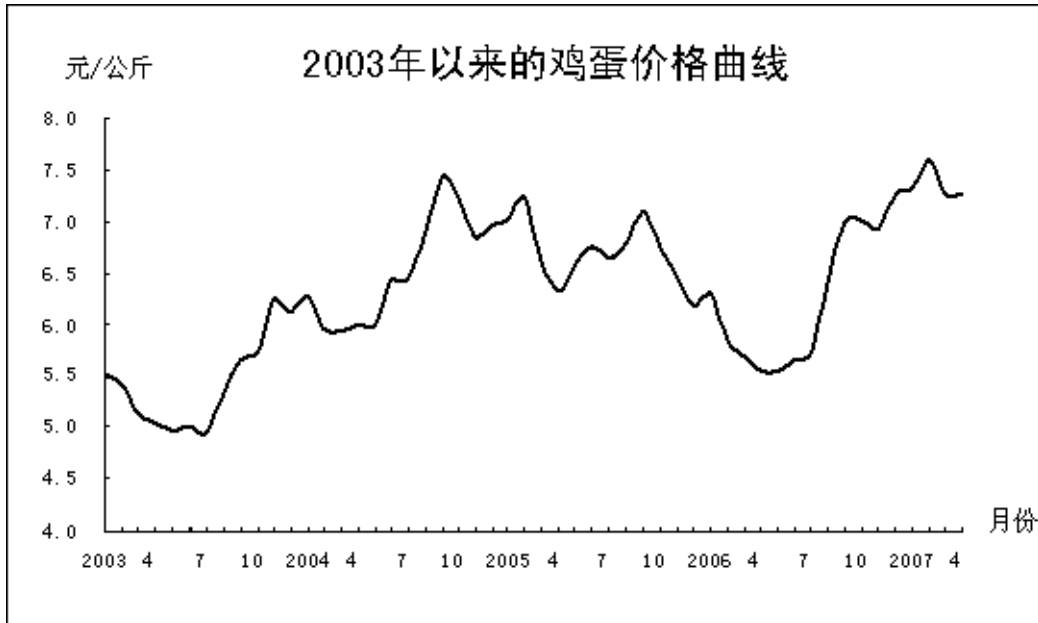
月以降、豚产品价格は全体に持続的な上昇傾向を維持している。うち子豚価格は10カ月連続で上昇し、豚価格は今年2～3月に小幅に下落した後、4月は若干上昇した。豚肉価格は、このところ2カ月連続で小幅ながら下落した。



(2) ヒナ価格は若干上昇、鶏卵価格は前月並み、鶏及び丸どり価格はやや下落

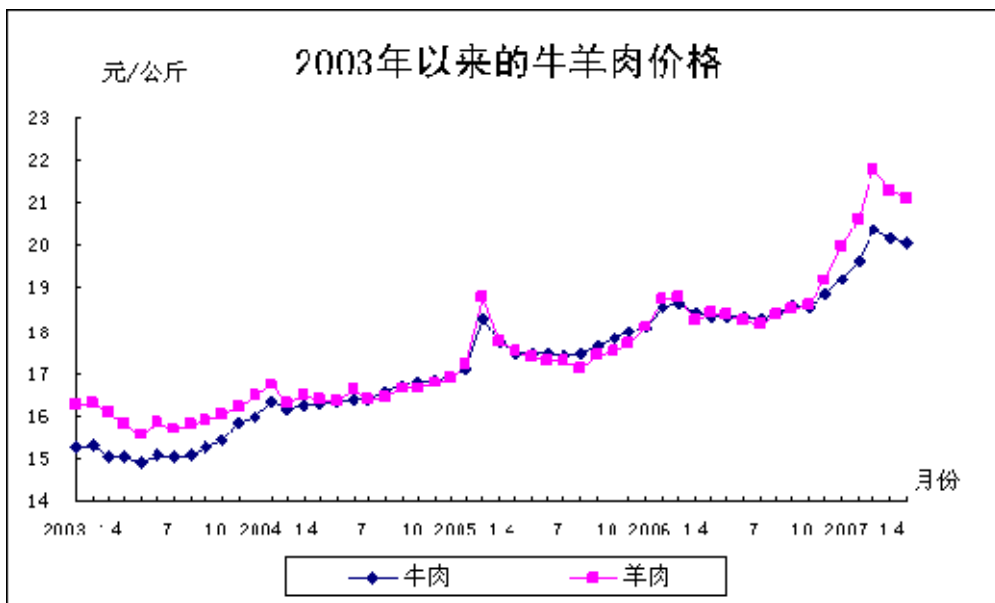
全国の鶏卵、鶏及び丸どり平均価格は、それぞれ1kg当たり7.25元、12.03元及び11.77元、またレイヤーヒナ価格及びブロイラーヒナ価格は、それぞれ1羽当たり2.54元及び2.37元となった。前月に比べ鶏卵価格は横ばい、鶏及び丸どり価格はそれぞれ0.7%安及び0.8%安、レイヤーヒナ及びブロイラーヒナ価格はそれぞれ2.8%安及び3.9%安となった。鶏卵価格は貴州省が最高で1kg当たり9.74元、東北三省では比較的安く、平均6元以下の水準にあった。こうした状況は、4月における家禽产品价格が総体的に安定していることを示しており、養鶏農家のヒナ需要が若干増加した。

前年同期比では、家禽产品价格はいずれも大幅に上昇した。うち鶏卵、鶏及び丸どり価格は、それぞれ30.9%高、29.2%高及び22.9%高、レイヤーヒナ及びブロイラーヒナ価格はそれぞれ35.1%高及び60.1%高となった。昨年8月以降、家禽产品价格は大幅な上昇を見せており、加えて春節（旧正月）が消費の後押しをし、今年2月の家禽产品价格はここ数年間でかなり高い水準に達した。3～4月は全体にやや下落したものの、ヒナ価格だけは若干の上昇を示した。



(3) 牛・羊肉価格は若干下落

全国の牛肉及び羊肉価格は1kg当たり20.07元及び21.09元、前月比0.3%安及び0.8%安で、2カ月連続で下落した。うち主要消費地である南方の上海市、浙江省、福建省、広東省及び海南省では、牛肉及び羊肉の平均価格はそれぞれ25.61元及び26.83元、前月比0.6%安及び1.0%安となった。牛肉主産地である河北省、吉林省、安徽省、山東省及び河南省における牛肉平均価格は前月比0.6%安の18.77元、羊肉主産地である河北省、内蒙古自治区、山東省、河南省及び新疆ウイグル自治区における羊肉価格は、同1.0%安の19.2元となった。



前年同月比では、牛肉が9.3%高、羊肉が14.5%高であり、ともに歴史的な高水準を維持した。

(4) トウモロコシ価格は前月並み、配合飼料価格は小幅ながら下落

全国のトウモロコシ平均価格は前月並みの1kg当たり1.54元となり、6カ月連続の上昇には到らなかった。主産地である吉林省及び黒龍江省におけるトウモロコシ価格は比較的低位水準で、それぞれ1kg当たり1.19元及び1.14元となった。主要消費地である海南省及び広東省における価格は比較的高水準で、それぞれ同1.85元及び1.8元となった。地域別に見ると、トウモロコシ価格は華北で平均2%程度の上昇、四川省では劇的な変化を見せ、先月は全国最大の10.2%という上昇幅を示したものの、今月は逆に全国最大の5.2%という下落幅を示した。輸入魚粉及び大豆粕の平均価格は、それぞれ1kg当たり8.02元及び2.68元となった。肥育豚・ブロイラー及びレイヤー配合飼料価格は、それぞれ同2.01元、2.21元及び2.01元となった。前月に比べ、輸入魚粉価格は1.0%高、大豆粕は1.8%安、肥育豚配合飼料は1%安、ブロイラー配合飼料は0.5%安、レイヤー配合飼料は0.5%安となった。

前年同月比では、トウモロコシ及び輸入魚粉価格の上昇幅が大きく、それぞれ20.3%高及び23.8%高となった。大豆粕は3.1%高、肥育豚・ブロイラー及びレイヤー配合飼料はそれぞれ10.4%高、7.3%高及び8.1%高となった。



(5) 主産地における牛乳価格は小幅上昇

主産地である北京市、天津市、河北省、内蒙古自治区、山西省及び黒龍江省の6省市自治区における牛乳の平均価格は、前月比2.1%高の1kg当たり1.99元となった。うち河北

省及び山西省における牛乳価格は、それぞれ1.89%高及び1.79%高となり、北京市及び内蒙古自治区では前月並み、天津市及び黒龍江省では若干下落した。前年同月比で見ると、6主産省市区における平均牛乳価格は、1.5%高とわずかに上昇した。

2 価格変動の原因分析

(1) 飼料コストの大幅増が家畜・畜産物価格を押し上げ

トウモロコシ及び魚粉は畜産における主要な飼料原料となっているが、2006年以降、トウモロコシ及び輸入魚粉価格は、一部の月では反落することがあるものの、全体に上昇傾向が持続している。2007年1～4月のトウモロコシ価格は4カ月連続で1kg当たり1.5元以上の水準を維持し、その平均価格は前年同期比19.7%高の1.52円で、最近10年間で歴史的な高水準となった。飼料原料価格の高騰は、直接的に生産コストと家畜・畜産物価格の上昇をもたらし、2007年1～4月における子豚、豚及び豚肉平均価格は、それぞれ前年同期比42.2%高、33.9%高及び23.9%高、鶏卵、鶏及び丸どり平均価格は同26.02%高、27.1%高及び22.6%高、牛肉及び羊肉平均価格は同8.5%高及び14.3%高であった。

(2) 祝日・季節需要変動による消費減少が豚・牛・羊肉価格の下落を招来

中国の食肉消費には明らかな季節変動が規則的に見られ、冬春は気温が低く食肉消費が旺盛となる一方、夏秋は気温が高く消費が減少する傾向にある。このため、消費がピークとなる春節（旧正月）後は祝日性変動により3月の豚・牛・羊肉価格が下落し、その後は季節変動により4月の価格が引き続き小幅に下落する傾向が見られる。

3 当面の予測

(1) 主要家畜・畜産物価格は、短期的には全体に安定的に推移

5月1日のメーデー前後のゴールデンウィークには消費が増加し、価格の上昇をもたらすものの、コストの上昇余地が大きくはない上、季節変動により需要が減少する傾向にあることから、短期的には、豚及び家禽産品価格は安定的に推移する一方、豚・牛・羊肉価格は安定推移の中にも下落する可能性がある。

(2) トウモロコシ価格は短期的には安定的に推移

トウモロコシによるエタノール生産に対する国のマクロコントロール政策により、トウモロコシの高度加工企業の拡張が制限されたことに加え、国内・国際市場におけるエネルギー源価格が比較的安定していることから、加工業のトウモロコシ需要も相対的に安定して推移するとみられている。一方、畜産業のトウモロコシ需要に対する変化は大

きくはなく、短期的にはトウモロコシ価格が引き続き上昇する可能性は大きくはないと予測されているものの、価格は高水準で推移するとみられている。